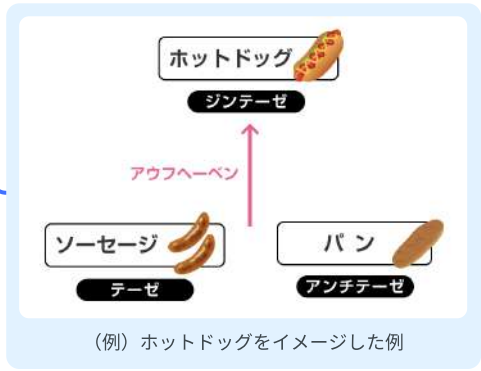


『精神現象学』要約マップ

1.矛盾をどう乗り越えるか？

- 感覚と知覚
  - 感覚 — 対象の直接的な捉え方 — 対象の本質を捉えられない
  - 知覚 — 感覚を超えた対象の捉え方 — 変化に対応できない
- 悟性と理性
  - 悟性 — 知覚を超えた概念形成 — 論理的な思考を可能にする
  - 理性 — 悟性を超えた真理探求 — 矛盾を克服し、より高次の真理へ
- 「弁証法」 — 矛盾克服の論理
  - 歴史や意識の発展を説明 — 絶対知への到達を支える論理
  - 「正（テーゼ）」×「反（アンチテーゼ）」⇒「総合（ジンテーゼ）」



（例）ホットドッグをイメージした例

2.本当の自分をどう得るか？

- 自己意識の誕生
  - 自己意識を持つ — 主体と客体の分離
  - 主体 — 意識を持つ存在
  - 客体 — 意識によって対象化される存在
  - 人間にとって大きな転機 — しかし「対立」という新たな問題を生み出す
- 欲望と承認
  - 欲望 — 自己の欠如を補う力 — 他者との関わりが必要
  - 他者との関わり
    - 自分を客観的に見ることができる
    - しかし、他者からの承認を求める「新たな欲望」も生まれる



3.理想社会をどう実現するか？

- 宗教と啓蒙 — 真理の追求
  - この２つは共通の目的を持つ
  - 啓蒙 — 理性による真理の探求
  - 宗教  — 神話や教義による真理の表現
- 歴史の最終段階 — 「絶対知」
  - 主体と客体が完全に統一された意識（＝真理）
  - 絶対知を獲得 — 理想社会の実現へ